

ホームページ閲覧支援システム

岐阜県

○ 取組の概要

県のホームページのアクセシビリティ向上のため、高齢者や障害者を含むパソコン利用者を対象に、ホームページの文字を拡大したり、音声で読み上げたりする「日本語文字読み上げ・文字拡大・画面配色変換ソフト」を導入。

○ 岐阜県の概要



岐阜県の概要

県庁所在地

●岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

人口

●2,106,293人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

○ 取組について

1. 取組の背景

- ・ 岐阜県では、2002年4月から「県民苦情事前処理制度」を設け、県民の苦情・意見を聞いている。この県民の意見の中に、ホームページの文字が小さい、という指摘があった。これからは高齢者が増えることや視力の弱い人への対応が求められることから、より使いやすいホームページとするために、文字を大きく表示し、音声で読み上げることができるホームページ閲覧支援システム「日本語文字読み上げ・文字拡大・画面配色変換ソフト」導入することとした。

2. 取組の具体的内容

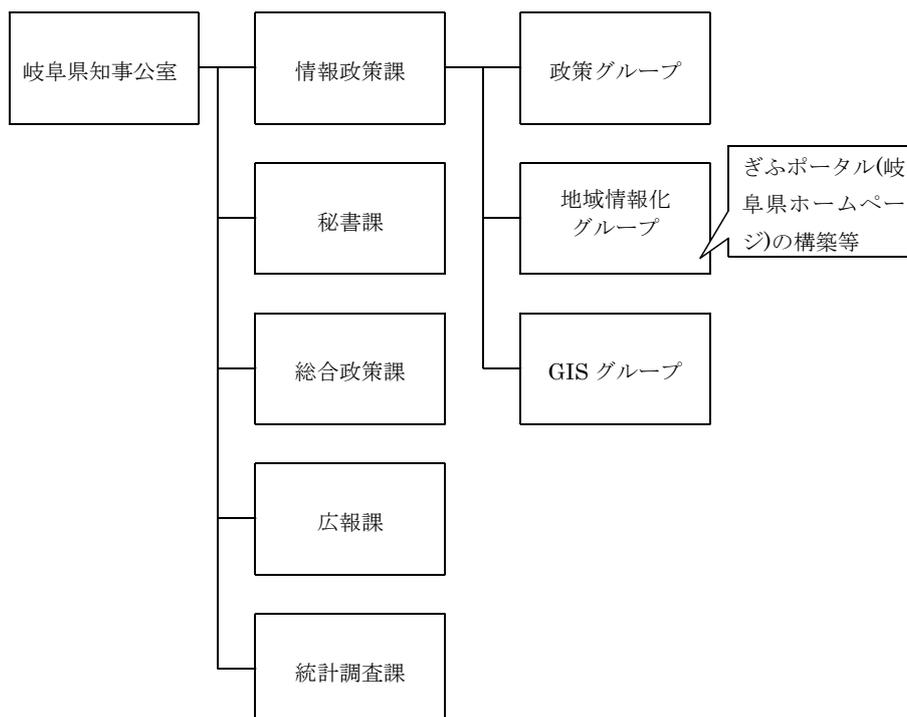
- ・ 岐阜県では、2002年度末（2003年3月）から、このシステムの運用を開始した。
- ・ 利用者は、県のポータルサイト（ホームページ）「ぎふポータル (<http://www.pref.gifu.lg.jp/>)から、「日本語文字読み上げ・文字拡大・画面配色変換ソフト」のプログラムをダウンロードする。
- ・ このソフトは、高齢者や障害者を含むパソコン初心者で、かつ、マウスを使用できる視力を持つ方を対象にしている。
- ・ このソフトを使うと、閲覧画面部（ホームページ画面）に加えて、操作ボタン部（メニュー画面）と拡大文字表示部（文字拡大画面）が立ち上がる。ホームページ上の文字を読み上げながら、同時に読み上げ部分の文字を逐次、拡大表示する。文字の大きさや配色も選択できる
- ・ このソフトの特長は、使用に当たって理解や記憶する事柄が少なく、操作が単純で、弱い視力が支援されるシステムであること、システムの使用に当たってユーザーのPC上に特別な準備が不要であり、十分な安全性が確保された上で、ユーザーが特に意識しなくても、サーバーからインストール、バージョンアップ、起動がシームレスに行えること、また、十分な実績のある音声合成エンジンと読み上げ処理技術を用いて自然な操作によりホームページを読み上げると同時に、読み上げ文字を同期・連携させて拡大表示すること、などがある。このように、パソコンの知識が特に無い利用者でも安心して楽に使え、管理・運用が容易で、利用者を十分に配慮したシステムである。
- ・ 日本アイ・ビー・エム株式会社が開発した、「らくらくウェブ散策」というプログラムを使用している。ホームページのサーバー上で運用している。



3. 取組にかかる事業費

- 「日本語文字読み上げ・文字拡大・画面配色変換ソフト」に関する事業費
 - ・ ソフトの導入・構築に要した費用（初期投資）：735万円
 - ・ ソフトの運用に要する費用：平成16年度までは特になし（わが国最初のユーザーという理由から、ソフト会社からはランニングに係る費用は特に求められなかった。）

4. 取組の体制



5. 取組の成果

- ・ このシステムは、高齢者を含めパソコンの初心者に対してインターネットを利用する機会を提供することが大きな目的である。現在のインターネットは情報提供が中心であるが、今後は、e-Japan などの国の方針により、サービス提供の方向にも大きく展開していくものと予想される。
- ・ 「日本語文字読み上げ・文字拡大・画面配色変換ソフト」は、インターネットを利用できる機会を増やすことにより、より多くの方が情報やサービスに関する IT のメリットを享受できる導入効果を持つものである。
- ・ このソフトを利用した、岐阜県のホームページへのアクセスを通じて、インターネットをより身近なものに感じてもらうことができる。

6. 今後の課題

- ・ これまでは、岐阜県がこの閲覧支援ソフトのわが国における最初のユーザーであったため、実験・ショーケース的意味合いもあって、ソフト会社からは、ソフトの運用に係る経費を不要とされてきた。しかし、今後は、システム事業者から運用経費が求められることとなることから、その手当が必要である。
- ・ これまでのところ、特にこのソフト自体に関するクレーム等は特にない。
- ・ 「日本語文字読み上げ・文字拡大・画面配色変換ソフト」は導入した団体のホームページのみをサービスするように設計されているため、岐阜県のホームページからのリンク先のホームページでは、同様の設定がされない限り、このソフトの利用はできないこととなっている。